

2000年2月21日

いすゞ 大型トラック『ギガ』シリーズを「平成11年排出ガス規制」に適合し発売

－6×2 駆動車 および 6×4 駆動車－

いすゞ自動車（株）は、大型トラック『ギガ』シリーズの、6×2 駆動車 および 6×4 駆動車を、「平成11年排出ガス規制」に適合させるなどの改良を施し、2月21日より全国一斉に発売する。

『ギガ』シリーズは、1994年に、「信頼と安全」を開発のベースコンセプトに、大型トラックに求められる基本性能、安全性、信頼性を追求して誕生した車両である。

1997年には、全車運転席に「トラック専用SRSエアバッグ及びプリテンショナー付シートベルト」を標準装備し、安全性のより一層の向上を図った他、荷台振動を大幅に低減し、高品質輸送を実現する「4バグエアサスペンション」を日本で初めて採用した『ギガマックス』を発売するなど、常に安全性と経済性を追求した車両開発を行っている。

今回の改良では、法規制対応として「平成11年排出ガス規制」及び「中期ブレーキ安全規制」に適合した。また、衝突時のキャブ変形量を減少し生存空間を確保するため、フレーム構造などに改良を施し安全性の向上を図った。

さらに、エンジンの燃焼効率の向上やフリクションの低減などにより燃費を向上させた他、「4バグエアサスペンション」搭載車『ギガマックス』のラインナップに6×4 駆動車を追加設定するなど、より一層安全性と経済性に配慮した。

主な特長は次の通り。

1.PM・黒煙及びNOxの低減に有効な「電子制御コモンレール式高圧燃料噴射システム（※1）」や「TICS（※2、※3）」の採用等により、平成11年排出ガス規制に適合すると共に、低燃費と高出力の両立を図った5タイプ（インタークーラーターボ系＝3タイプ、無過給系＝2タイプ）のエンジンを設定した。

2.世界で初めて「逆止弁（ぎゃくしべん）」を装備した「ワンウェイ・クールドEGR」をインタークーラーターボ系エンジンに採用し、PM・黒煙およびNOxの低減を図った。

3.吸気効率の改善や吸排気4バルブ化、高圧燃料噴射などとの組み合わせによる燃焼効率の向上や、エンジンのフリクション低減などにより、優れた燃費を実現、カーゴ系の当社従来車比で燃費を約8～13%向上（※4）させた。

4.衝突時のキャブ変形量を減少し生存空間の確保を図るために、衝突時のエネルギーをフレーム先端で吸収するなど、フレーム構造やキャブフロア構造、キャブマウント部などに改良を施した。

5.「4バグエアサスペンション」を搭載しご好評を戴いている『ギガマックス』のラインナップを拡大、従来の「6×2駆動車」、「8×4駆動車」に加え、「6×4駆動車」、「6×4低床3軸車」も設定した。

※1 6SD1-TC型エンジンに採用。

※2 TICS = Timing and Injection rate Control System

※3 6SD1-TC型エンジンを除く全エンジンに採用。

※4 社内実験値であり、走行・積載・運転条件によっては数値が異なります。

≪目標販売台数≫ 『ギガ』 シリーズ全体で10,000台/年

≪東京地区希望小売価格≫（消費税含まず）

車型	用途	gvw (トン)	エンジン (出力)	希望小売価格	備考
KL-CYL51V3W	標準ウィング	25	6WF1-TC 272kW (370PS)	16,619 千円	6×2 エアサス車 エアコン 永久磁石式リターダ
KL-CYL51V3	平ボディ	25	6WF1-TC 272kW (370PS)	14,065 千円	6×2 エアサス車 エアコン 永久磁石式リターダ
KL-CYY23V3	平ボディ	25	6SD1-TCS 250kW (340PS)	14,035 千円	6×4 エアサス車 エアコン 永久磁石式リターダ

KL-CYM52V3W	平ボディ	25	6WG1-TCN 331kW (450PS)	14,616 千円	6 X 2 エアコン 永久磁石式 リターダ
KL-CXZ81K3	ダンプ	20	10PE1-S 265kw(360ps)	12,771 千円	6 X 4 エアコン

| [商品概要はこちら](#)から |